

# セキュリティガバナンスの構造的転換と ROI 分析

初期構築工数の圧縮と運用フェーズにおける投資回収

## 1. 現状の課題：なぜ今、構造を変える必要があるのか

多くの組織で、セキュリティチェックシート業務の実態は「回収すること」が目的化しています。

未回答先の特定、個別催促、進捗の突き合わせ。これらの作業に時間が集中した結果、本来の目的であるはずの「回答内容の精査」が後回しになりやすい構造が生まれています。担当者がセキュリティリスクを評価する専門家であるにもかかわらず、その時間の多くが事務的な管理業務に費やされている状態です。

形式的なチェックが完了していても、内容を十分に検討できていなければ、管理の実効性は担保されません。本施策が目指すのは、単なる工数削減ではありません。

専門人材を「作業」から「判断」へ戻し、精査の質を担保するための仕組みを構築することです。

## 2. 業務フェーズの整理：一時的投資 vs 継続的リターン

セキュリティチェックシート業務のシステム化は、2つのフェーズに分かれます。

- ・導入・構築フェーズ：一度だけ発生する初期投資
- ・運用フェーズ：毎年その恩恵を享受する継続期間

初期構築については、既存資産や標準テンプレートを活用することで工数を最適化できます。

### 初回構築工数を抑える3つのアプローチ

#### ① テンプレートによる立ち上げ短縮

「委託先評価」「情報セキュリティ点検」など目的別のテンプレートを叩き台として活用できます。ゼロから設問を設計する必要がなく、本番運用までの期間を短縮しやすくなります。

#### ② 自社基準へのカスタマイズ

テンプレートをベースに、設問の追加・削除・変更を柔軟に行えます。自社固有の評価軸を組み込みやすいため、導入後の形骸化を防ぎ、実効性の高い調査票を構成できます。

### ③ 既存 Excel 資産のシステム化

社内で運用実績のある Excel チェックシートがある場合、そのフォーマットをもとにテンプレートを作成できます。従来の設問構成を大きく変えずにデジタル化できるため、移行コストと現場の混乱を最小限に抑えられます。

#### 想定工数（100 社規模）

- ・標準：20～60 時間（中央値：30～40 時間）
- ・テンプレート・既存フォーマット活用時はゼロベース設計より工数を抑えやすい

#### 初期人件費レンジ

- ・事務中心（テンプレート活用）：15～25 万円
- ・専門関与（独自要件の組み込み）：25～40 万円

## 3. ROI シミュレーション

前提：スタンダードプラン 年額 26.4 万円 / 現状コスト 125 万円（中央値ケース）

指標	1 年目（投資＋運用）	2 年目以降（純運用）
システム利用料（税込）	26.4 万円	26.4 万円
初期構築コスト（人件費）	約 15～40 万円（一回限り）	0 円
運用人件費（改善後）	約 40～60 万円	約 40～60 万円
年間実質メリット	<b>約 0～40 万円（回収完了）</b>	<b>約 70～90 万円（純増益）</b>

なお、この ROI 試算には「精査の質の向上」がもたらす定性的な効果は含まれていません。回収管理から解放された担当者が内容の評価に時間を使えるようになることで、リスクの見落としを減らす効果は、財務的な数値以上の価値を持つ可能性があります。

## 4. 経営層への論点整理

初回構築の手間を理由に導入を先送りにすることは、長期的な機会損失につながります。判断に際して押さえるべき3点を整理します。

**叩き台があるから、検討コストが下がる** テンプレートを起点にすることで、専門人材の時間を「作成」ではなく「判断」に集中させられます。

**既存資産を活かせるため、移行リスクが低い** 長年培ったExcelの知見は sunk cost にならず、そのままデジタル移行の基盤として活用できます。

**累積メリットで評価する** 1年目の初期工数を適切にコントロールし、2年目以降に毎年発生する運用益を早期に享受し始めることが、合理的な判断といえます。

また、現状の運用を継続することにもコストがあります。担当者の時間が管理作業に固定され続ける限り、内容の精査に充てられるはずの専門的な判断の機会は失われ続けます。これは財務数値に現れにくいリスクですが、ガバナンスの観点では無視できない損失です。

## 5. 結論

本施策は、月額 22,000 円～の維持費で「属人的な事務作業」を「組織的なデジタル資産」へ置き換える経営判断です。

目的は効率化ではありません。回収管理という事務的な負荷を構造的に取り除き、担当者がセキュリティリスクの評価という本来の役割に集中できる体制を整えることです。

テンプレートで立ち上げ工数を抑え、自社基準に最適化する。このプロセスにより、15～40万円程度の初期コストを数ヶ月～1年以内に回収し、2年目以降の生産性向上とガバナンス強化を実現します。